

防草シート

技術資料

販売元：株式会社グリーンフィールド

デュポン™ ザバーン®

デュポン™ プランテックス®

ジスタス®

ザラグリップ®

目次

| | |
|--------------------------|------|
| 防草シート概要 | 1 |
| 防草シートの施工方法 | 2 |
| 防草シート平坦面での施工方法 | 3 |
| 防草シート法面での施工方法 | 4 |
| GF防草テープ／GFボンド®の施工方法 | 5 |
| フラットバー／コンクリート用ビスセットの施工方法 | 6 |
| 植栽ワッシャー®テープの施工方法 | 7 |
| 砂利／人工芝／コンクリート下の施工方法 | 8 |
| 各種試験データ | 9、10 |
| 関連部材の早見表 | 11 |

環境良品



デュポンは地球環境を考えます。
本製品は環境への考慮を第一として設計されています。
ポリプロピレンである製品及び梱包資材は、完全燃焼の際に
有毒ガスや有害物質は一切発生致しません。
尚、大量の廃棄は各自自治体の指示に従ってください。

デュポン™、ザバーン®、プランテックス®は米国デュポン社の関連会社の商標または登録商標です。
ジスタス®、ザラグリップ®、防草パッチ®、植栽ワッシャー®、植栽オープナー®、リアリーターフ®、ガンコピン®、GFワッシャー®、GFボンド®は株式会社グリーンフィールドの登録商標です。

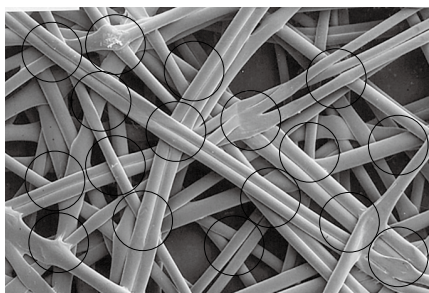
グリーンフィールドの防草シートは 環境に配慮したポリプロピレン製(品)*を使用しています

ポリプロピレン4層спанボンド長繊維不織布

*ジスタス400Gを除く

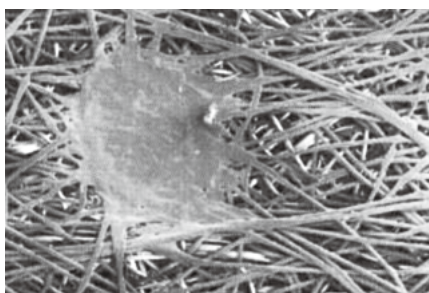
ポリプロピレンの分子は炭素と水素で構成されており、焼却しても二酸化炭素と水に分解されるだけで、ダイオキシンなどの有害物質が放出される心配がありません。また、加水分解せず、屋外で使用するることによる経年劣化が起こっても、土壌に有害物質が溶け出すこともありません。

防草シートは耐久年数が長く、それだけ土壌に触れ続けるものです。長い間の安全性があつてこそ、安心してご使用いただけるのではないかと考えております。



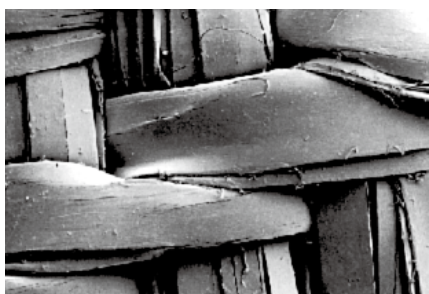
ポリプロピレン4層спанボンド長繊維不織布

太い繊維を縦横無尽に重ね合わせ、繊維同士を熱融着してあるため強度を保ったまま薄く上げることができる。1本1本融着しているため強度及び寸法安定性が極めて高く、イネ科の植物やスギナ、チガヤ、ヨシなどの貫通力の高い植物でも貫通することが出来ない(ザバーン®240G・350G/プランテックス®240BB/ジスタス®500G/ザラグリップ®)。ザバーン®/プランテックス®は薄く仕上げているため軽く、作業性が良い。水と空気を良く通すため土に影響を与えない。



ニードルパンチ(カーペットなど)

細い繊維を縦横無尽に絡ませ、所々パンチングで繊維同士を溶かし合い融合している。パンチング以外の部分は融合していない。この製法で、草の貫通を抑制するためには、繊維量を増やす必要があり、重量が増える。спанボンド不織布を基材として一体化することで更に雑草抑制効果が上がる(ジスタス®)。ある程度厚みがあるため目詰まりする恐れがある一方、厚みがある分耐久性は向上する。



織布

一般的にテープなどを裂いたものを一定方向に織っている。織っているだけなので、繊維同士は融合しておらず、繊維の隙間から草が貫通することがある(特に斜めに引っ張られた状態では顕著)。水と空気を通す量は少ない。

■ 防草シートの施工方法(曝露)

- ① 雑草を取り除き、整地を行います。突き抜けの強い雑草に関しては、できるだけ根まで除草処理を行うことをお奨めします。また、敷設面に石や茎などの固い異物があるとシートが破損する恐れがあるので取り除きます。
- ② シートを敷設し、専用ピンで仮固定します。シート同士の重ねは100mmとります。
- ③ ピンを打つ位置をスミ付けし、ピンを打ち付け(もしくはねじ込み)シートを本固定します。
- ④ シート同士のジョイント部や端部については、必要に応じてGF防草テープやGFボンド®、フラットバーなどで適切に処理することで雑草を抑制し、風の吹き込みによる捲れや剥がれを防止します。

■ 防草シートの固定方法(曝露) ピンの選択

防草シートは3種類の固定方法があります。現場状況に合わせてお選びください。

ガンコピン® + 防草パッチ®



ピンを打つ位置をスミ付けした後、インパクトレンチでピンをシートに直接ねじ込みます。仕上げにピンの上から防草パッチ®を貼ってください。ガンコピン®はリサイクルポリプロピレン製なので錆びることがなく、耐久性に優れています。

防草パッチ® + 止めピン



ピンを打つ位置をスミ付けした後、コ型止めピン/L型止めピンをシートに直接ハンマーで打ち込みます。仕上げにピンの上から防草パッチ®を貼ってください。

GFワッシャー® + 止めピン



GFワッシャー®にコ型止めピン/L型止めピンをセットしておきます。ピンを打つ位置をスミ付けした後、セット済みのピンを直接ハンマーで打ち込みます。

■ 施工時の注意点

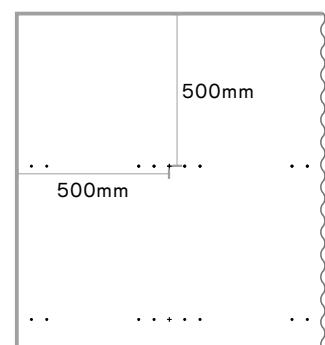
- ・コ型止めピン、L型止めピンを使用する場合、防草パッチ®やGFワッシャー®を併用してください。ピン穴からの雑草を抑制し、シートのバタつきを押さえます。
- ・砂利下に防草シートを使用する場合はプラピンのみでご使用いただけます。
- ・ザラグリップ®には防草パッチはご使用いただけません。

■ ザバーン®製350G・240G ドット印刷

- 350Gには、あらかじめ縦横500mmピッチのドットが印刷されています。
- ・ピン打ち箇所・シート重ね位置・カットライン・植栽位置の目安となります。
 - ・端部の50mmピッチのドットは、シートの重ね100mmの目安となります。

※ドット印刷につきましては、シートの加工状況により、カット部分からのドットの開始位置が製品によって若干異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※240Gのドット印刷は加工代として別途ご請求させていただきます。



基本 防草シート ザバーン®/ジスタス®/ザラグリップ®

■ ザバーン®/ジスタス® 平坦地施工方法(曝露)

・施工歩掛り(100㎡あたり)

| 項目 | 仕様 | 人工 |
|-------|----------------|------|
| 小運搬 | 普通作業員 | 0.3 |
| シート敷設 | 普通作業員 | 0.6 |
| シート固定 | 普通作業員 | 0.6 |
| テープ工 | 普通作業員 | 0.1 |
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.05 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員(世話役含まない) | 1.65 |

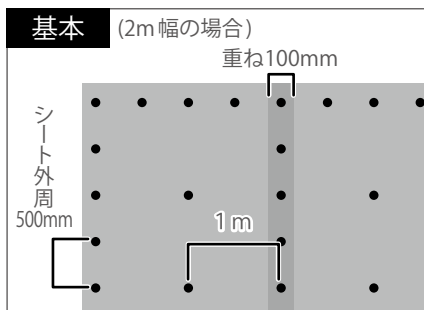
- ・現場の条件により、防草シートの設置に手間がかかる場合、もしくはシート加工が多量に必要な場合は、歩掛りを考慮してください。
- ・シート固定にはパッチ貼り工、またはGFワッシャー®セット工が含まれています。
- ・シート固定に専用ボンドとGF防草テープ、またはフラットバーを併用する場合は、各種歩掛りを加算し、算出してください。【P.5~6参照】
- ・植栽作業を行う場合は、別途作業人工を加算してください。また、植栽ワッシャー®を使用する場合は【P.7】をご参照ください。
- ・テープ人工は、基本形施工時の人工数です。
- ・ガンコピン®施工は発電機、インパクトレンチを使用しております。

・施工材料(100㎡あたり・基本形施工) 参考必要ピン数量3本/㎡ ※但し100㎡以下の場合は除く

| 品名 | 数量 |
|----------------------|------|
| 防草シート(2m幅) | 105㎡ |
| ガンコピン®/コ型止めピン/L型止めピン | 222本 |
| GF防草テープ | 50m |
| GFワッシャー®/防草パッチ® | 222枚 |

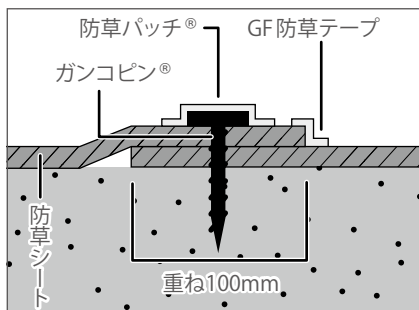
- ・左記材料は実質量です。商品は梱包によりロット数が決まっておりますので、数量ロスが発生いたします。
- ・GF防草テープはシート同士の重ね部分に貼った場合の数量です。端部処理等に使用する場合はこの限りではありません。
- ・ピンの選択は【P.2】をご参照ください。
- ・固定ピンには防草パッチ®,もしくはGFワッシャー®を必ずご使用ください。

・固定ピン止め位置



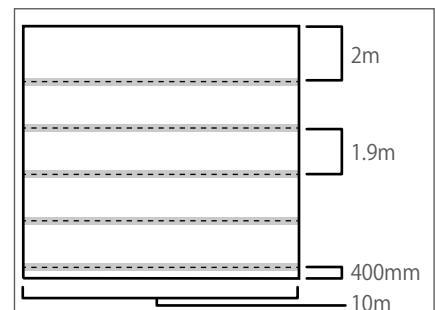
シート外周・ジョイント部は500mm、内側は1mピッチでピンを打ちます。

・断面図



ガンコピン®で施工した場合。

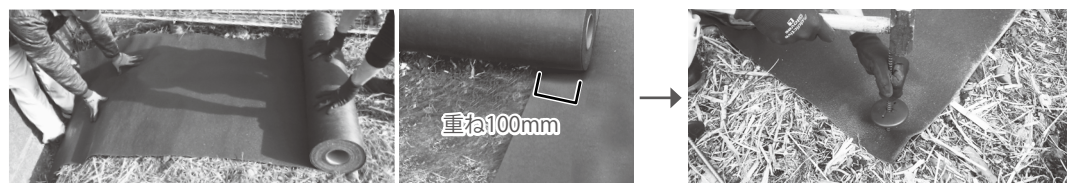
・基本形施工平面図



100㎡正方形施工の場合、グレーのラインがGF防草テープ貼り付け箇所となります。

■ ザラグリップ® 施工方法

ザラグリップ®の表面にはGF防草テープが貼り付かないため、ジョイント部にはGFボンドを塗布し、GFワッシャー®とL型止めピンで固定します。



雑草をできるだけ除去し、ある程度整地してからシートを敷設します。2列目のシートを敷く場合は、シート同士の重ね代を100mm設けます。

シートがずれないように、ピンを打ち仮固定します。

■ 施工時の注意点

- ・シートやピンの種類に関係なく、歩掛りは同じ人工です。
- ・植物や障害物がある場合、位置を合わせてからハサミやカッターなどで加工し、隙間がないよう施工してください。隙間が発生した場合は専用テープで補修してください。
- ・防草シートの幅によりピンの止め位置は変わりますが、シート外周はすべて500mm間隔で固定してください。
- ・土壌の性質に応じてピンの長さ・種類・間隔を変えて施工します。

■ ザバーン® / ジスタス® 法面施工方法 (曝露) ※法面勾配20%以上より

・施工歩掛り (100㎡あたり)

| 項目 | 仕様 | 人工 |
|-------|-----------------|------|
| 小運搬 | 普通作業員 | 0.3 |
| シート敷設 | 普通作業員 | 0.85 |
| シート固定 | 普通作業員 | 0.85 |
| テープ工 | 普通作業員 | 0.1※ |
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.05 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員 (世話役含まない) | 2.15 |

- ・現場の条件により、防草シートの設置に手間がかかる場合、もしくはシート加工が大量に必要な場合は、歩掛りを考慮してください。
- ・シート固定にはパッチ貼り工、またはGFワッシャー® セット工が含まれています。
- ・シート固定に専用ボンドとGF防草テープ、またはフラットバーを併用する場合は、各種歩掛りを加算し、算出してください。【P.5~6参照】
- ・植栽作業を行う場合は、別途作業人工を加算してください。また、植栽ワッシャー®を使用する場合は【P.7】をご参照ください。
- ・テープ人工は、基本形施工時の人工数です。
- ・ガンコピン®施工は発電機、インパクトレンチを使用しております。

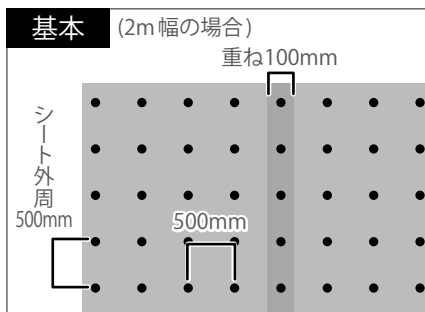
※曝露使用と砂利下使用では人工が異なります。

・施工材料 (100㎡あたり・基本形施工) 参考必要ピン数量5本/㎡ ※但し100㎡以下の場合は除く

| 品名 | 数量 |
|--------------------------|------|
| 防草シート (2m幅) | 105㎡ |
| ガンコピン® / コ型止めピン / L型止めピン | 462本 |
| GF防草テープ | 50m |
| GFワッシャー® / 防草パッチ® | 462枚 |

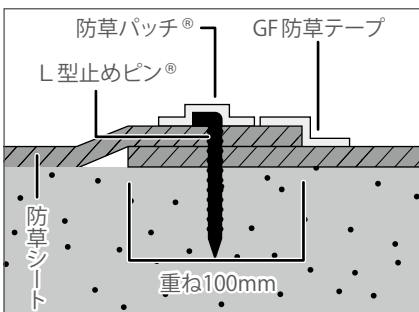
- ・左記材料は実質量です。商品は梱包によりロット数が決まっておりますので、数量ロスが発生いたします。
- ・GF防草テープはシート同士の重ね部分に貼った場合の数量です。端部処理等に使用する場合はこの限りではありません。
- ・ピンの選択は【P.2】をご参照ください。
- ・固定ピンには防草パッチ®, もしくはGFワッシャー®を必ずご使用ください。

・固定ピン止め位置



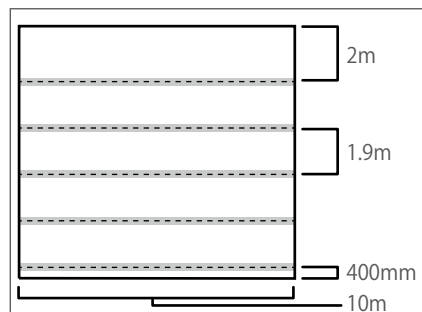
シート全体、500mmピッチでピンを打ちます。

・断面図



L型止めピン®で施工した場合。

・基本形施工平面図



100㎡正方形施工の場合、グレーのラインがGF防草テープ貼り付け箇所となります。

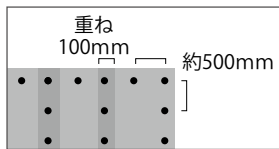


ピンを打つ箇所にスミ付けをします。



スミ付けした箇所へピンを打ち込みシートを固定します。シート外周・重ね部に約500mmピッチでピンを打ちます。

・固定ピン止め位置



重ね代にボンドを塗布しシート同士をしっかりと接着します。重ね代のピンはボンド塗布後にしっかり打ち込んでください。

- ・ピンを打ち込む場合はGFワッシャー®を併用するか、ピン打ち込み後に防草パッチ®を貼り、ピンホール部からの防草対策を行ってください。
- ・シート重ね部分はGF防草テープ、または専用ボンドで接続することを推奨します。
- ・端部が縁石の場合は必ずボンドを塗布し、専用テープで固定してください。縁石などが無い場合はフラットバーで固定することを推奨します。法面施工時、土留めが必要な場合は必ず法尻端部へフラットバーを併用してください。【P.6参照】
- ・施工場所、施工条件により施工方法はこととなります。詳しい施工方法はお問い合わせください。

オプション GF 防草テープ / GF ボンド®

シート端部からの風の吹き込みによる剥がれ防止と端部から繁茂する雑草を抑制します。

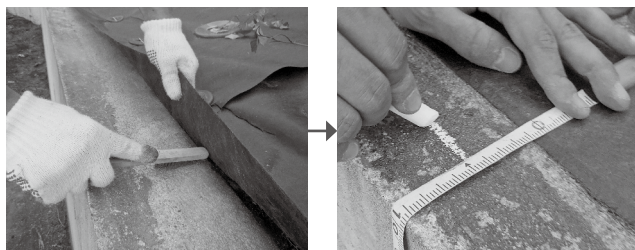
■ GF 防草テープ (コンクリート面・シート同士の接続面)

・施工歩掛り(100mあたり)

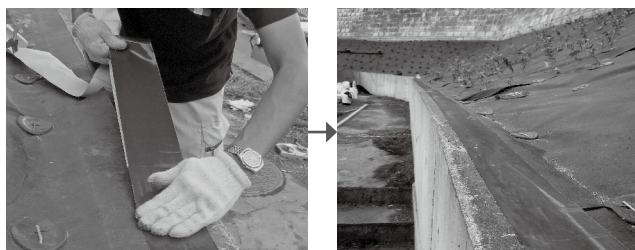
| 項目 | 仕様 | 人工 |
|------|----------------|-----|
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.1 |
| テープ工 | 普通作業員 | 0.2 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員(世話役含まない) | 0.3 |

・テープ工は、テープ貼りの作業単価となります。

・施工方法



接着面(コンクリート表面)の汚れを金ブラシで除去した後、シート端部から50mm程度外側にスミ付けを行います。



ラインに沿って手で押さえながら、シートにヨレやシワが起らないようにGF防草テープを丁寧に貼り、圧着して施工完了となります。

・施工時の注意点

- ・コンクリート面に接着する場合、表面の汚れはワイヤーブラシ等を使用し、しっかりと除去してください。
- ・シート端部がテープ中央部へ位置するように接着してください。
- ・防草シートの端部がヨレ、シワにより浮き上がっている状態で貼るとテープが剥がれやすくなります。防草シートの端部を折り込む、もしくはカットし、浮き上がりをなくした状態で接着してください。
- ・コンクリート面が湿っている場合や、濡れている場合は完全に乾いてから施工してください。

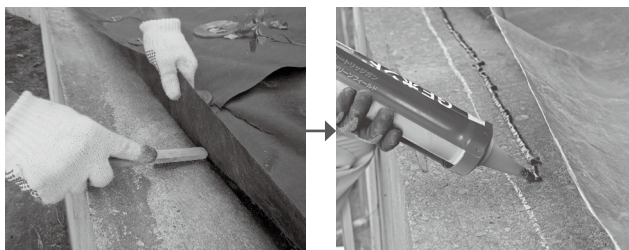
■ GF ボンド® (コンクリート面・シート同士の接続面)

・施工歩掛り(100mあたり)

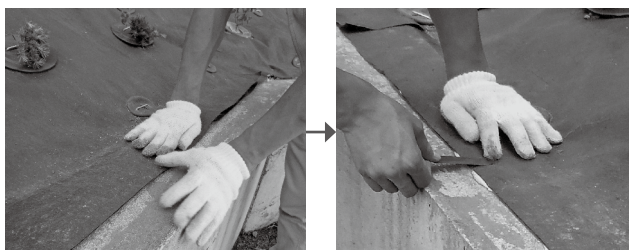
| 項目 | 仕様 | 人工 |
|------|----------------|-----|
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.1 |
| ボンド工 | 普通作業員 | 0.3 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員(世話役含まない) | 0.4 |

・ボンド工はボンドの塗布、仮固定の作業単価となります。

・施工方法



接着面(コンクリート表面)の汚れを金ブラシで除去した後、口径約8mmにカットしたボンドの先端をシート下に差し込み、ボンドを注入します。



ボンド塗布後、シートの上から軽く押し、シートとコンクリートにボンドを馴染ませます。ボンドの養生時間があるため、GF防草テープを数か所貼り、施工完了となります。

・施工時の注意点

- ・ボンドは速乾性ではありませんので、十分な養生とテープでの仮止めが必要です。(養生時間は24~28時間程度必要です)
- ・接着箇所が湿っている場合や、濡れている場合は完全に乾いた状態で施工してください。
- ・推奨ノズル口径8mmで施工した場合の接着数量は下記となります。(GFボンド®1本=1.2kg分)
[シート同士の接着:約25~30m / シートとコンクリートの接着:約15m / シートとアスファルトの接着:約10m]
- ・ノズル口径を大きくカットすると、施工m数が短くなります。

オプション フラットバー／コンクリート用ビスセット

シート端部からの風の吹き込みによる剥がれ防止、法面の土の流出の土留め、シート端部から繁茂する雑草を抑制します。

■ フラットバー（アンカーボルト） 固定（コンクリート面）

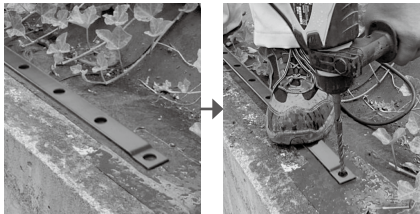
・施工歩掛り

（ハードエッジアンカー201本・100mあたり）

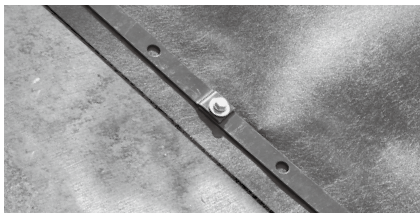
| 項目 | 仕様 | 人工 |
|-----------|----------------|-----|
| フラットバー設置工 | 普通作業員 | 1.0 |
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.2 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員（世話役含まない） | 1.2 |

- ・フラットバー設置工は、発電機、インパクトドライバー（13mm六角ソケット推奨）、ハンマードリルを使用しております。
- ・現場条件により、設置が困難な場合、もしくは加工が必要な場合は歩掛りを考慮してください。

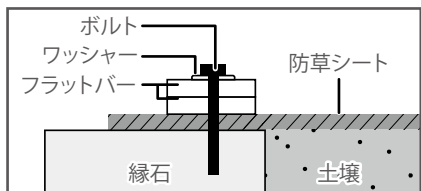
・施工方法



フラットバーを敷き並べたら、足で固定し、ハンマードリルで下穴をあけます。直径は8.5mm、下穴の深さはねじ首下長さの+10mm程度が目安です。



穴あけの際のコンクリートの粉を除去します。アンカーボルトとフラットバーの間にワッシャーを挟み込み、インパクトドライバーでねじ込みます。2本目のフラットバーを連結して固定し、最後に中間部を固定し、全て固定したら施工完了となります。



・施工時の注意点

- ・フラットバーの敷設面はなるべく平らにして使用してください。（敷設面の凹凸によって隙間が空いてしまうと、その隙間から雑草繁茂の原因となります）
- ・穴あけには発電機とハンマードリルが必要です。

■ フラットバー（L型止めピン） 固定（土壌面）

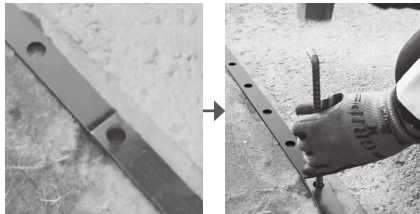
・施工歩掛り

（L型止めピン201本・100mあたり）

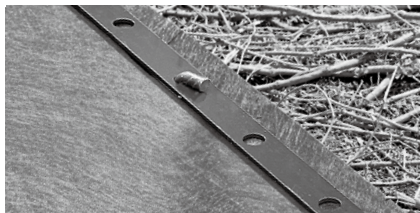
| 項目 | 仕様 | 人工 |
|-----------|----------------|-----|
| フラットバー設置工 | 普通作業員 | 0.7 |
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.1 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員（世話役含まない） | 0.8 |

- ・L型止めピン500mmによる固定作業単価になります。
- ・現場条件により、設置が困難な場合、もしくは加工が必要な場合は歩掛りを考慮してください。

・施工方法



フラットバーのジョイント部同士を合わせ、ジョイント部にL型止めピンで接続します。



残りの穴をL型止めピンで固定し、施工完了となります。

フラットバーは基本的に、両端と真ん中の穴3点をLピンで固定しますが、カットした場合や地面が固くてピンが打てない場合に、他の穴にもピンが打てるよう必要以上に穴が空いています。

・施工時の注意点

- ・土壌に施工する場合はL型止めピンを選定してください。
- ・フラットバーの敷設面はなるべく平らにして使用してください。（敷設面の凹凸によって隙間が空いてしまうと、その隙間から雑草繁茂の原因となります）

■ コンクリート用ビスセット 固定（コンクリート面）

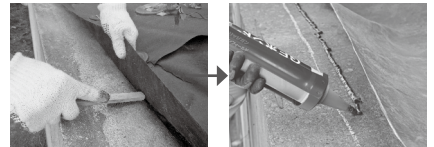
・施工歩掛り

（ピン200本・100mあたり）

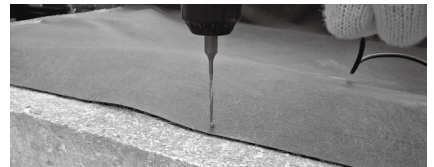
| 項目 | 仕様 | 人工 |
|-------|----------------|-----|
| ピン打設工 | 普通作業員 | 1.0 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員（世話役含まない） | 1.0 |

- ・ハンマードリルによる下穴作業が必要となります。
- ・ピン打設工は、発電機、インパクトドライバーを使用しております。
- ・現場条件により、設置が困難な場合、もしくは加工が必要な場合は歩掛りを考慮してください。
- ・ボンド工は含まれておりません。

・施工方法



接着面（コンクリート表面）の汚れを金ブラシで除去した後、口径約8mmにカットしたボンドの先端をシート下に差し込み、ボンドを注入します。



ビスの間隔は20～50cmで、シートの上からハンマードリルで下穴をあけます。直径は3.4～3.5mm、下穴の深さはねじ首下長さの+10mm程度が目安です。



穴あけの際のコンクリートの粉を除去し、インパクトドライバーでワッシャーとともにビスをねじ込み、施工完了となります。

・施工時の注意点

- ・ビス止めには付属のワッシャーを必ず使用してください。
- ・シートの凹凸部分ではできる限り水平にし、シートが浮いている箇所はビスを細かく止めてください。（隙間が空いてしまうと、雑草繁茂の原因となります）
- ・穴あけには発電機とハンマードリルが必要です。
- ・コンクリートの厚みや状態により、下穴を開ける場合や施工後にひび割れが起こる恐れがございます。

■ 植栽ワッシャー[®] テープ (植栽オープナー[®] 使用)

・施工歩掛り (100㎡あたり200株)

| 項目 | 仕様 | 人工 |
|------------------------|-----------------|------|
| 穴あけ工 | 普通作業員 | 1.0 |
| 土入れ | 普通作業員 | 0.3 |
| 水遣り | 普通作業員 | 0.1 |
| ワッシャー用植物セット | 普通作業員 | 0.65 |
| 植栽ワッシャー [®] 工 | 普通作業員 | 1.7 |
| 清掃作業 | 普通作業員 | 0.1 |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.2 |
| 計 | 普通作業員 (世話役含まない) | 3.85 |

- ・植栽ワッシャー[®]工は、ワッシャーの設置とテープ固定です。
- ・2株/㎡の植栽施工で積算しております。
- ・防草シートの敷設の手間は含まれておりません。別途加算し積算してください。【P.3~4参照】

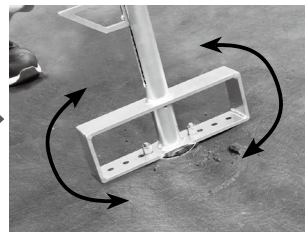
・施工方法



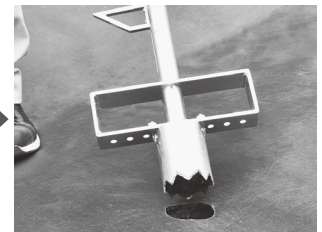
防草シートに穴あけ箇所のスミ付けを行います。



スミ付け位置に植栽オープナー[®]を深くまで押し込み、シートの上から踏み込みます。



円筒刃を深くまで押し込んだら前後にまわします。



そのまま引き上げます。



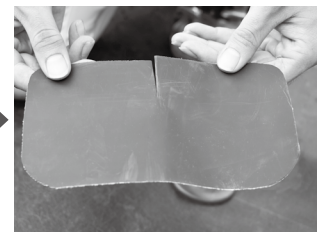
円筒刃内部に入った土はレバーを踏んで押し出します。



穴に改良土を充填し、水を合ませます。



穴に苗を植えます。



2枚のテープが穴の中心線で20mm重なるように貼っていきます。



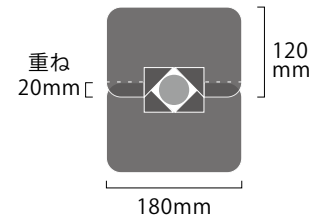
切れ目のある方を穴の中心線から10mm越えた位置に合わせて貼ります。



反対側も同じように貼ります。



固定後、シート上より水やりを行い、施工完了となります。



・施工時の注意点

- ・必要により、土壌改良を行ってください。
- ・穴あけは、専用の穴あけ機 (植栽オープナー[®]) で作業を行ってください。
- ・植栽オープナー[®]の円筒刃の先端には触れないようにしてください。
- ・植栽オープナー[®]はレバーの先端が尖っておりますので、取り扱いの際はご注意ください。
- ・植栽オープナー[®]のレバーや円筒刃内部はスライドしますので、指などを挟み込まないようにしてください。
- ・植栽オープナー[®]のレバーや踏み込み台は変形する恐れがありますので、無理な加重を与えないでください。

■ 砂利下、リアリーターフ®下、アスファルト下施工方法 (平坦地)

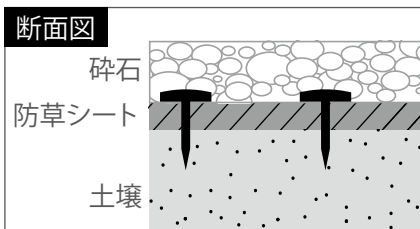
・施工歩掛り (100㎡あたり)

| 項目 | 仕様 | 人工 |
|-------|-----------------|------|
| 小運搬 | 普通作業員 | 0.3 |
| シート敷設 | 普通作業員 | 0.6 |
| シート固定 | 普通作業員 | 0.1 |
| テープ工 | 普通作業員 | 0.2※ |
| 管理 | 土木一般世話役 | 0.1 |
| 計 | 普通作業員 (世話役含まない) | 1.2 |

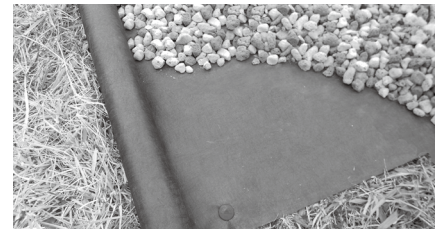
※曝露使用では0.1ですが、砂利下使用では構造物などの障害物が多いため、端部処理などの作業に人工がかかるため0.2となります。

- ・現場条件により、防草シートの設置に手間が掛かる場合、もしくはシート加工が多量に必要な場合は歩掛りを考慮してください。
- ・固定作業は砂利下施工で標準的に使用されるブラピンにて算出しております。コ型止めピン、L型止めピンに変更する場合は、ボンド・テープ等の固定作業が必要な場合は歩掛りを変更し、追加してください。【P.3、5】参照
- ・歩掛りに砂利敷き、リアリーターフ®敷き、アスファルト敷き手間は含まれておりません。
- ・シート同士の重ねは100mm以上確保してテープ処理を行ってください。

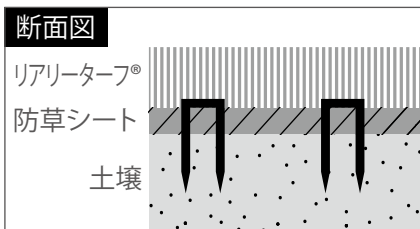
・施工方法 (砂利下)



防草シートを曝露時と同じように敷き、スミ付け箇所に専用ピンを1mピッチで打ち、シートを固定します。(1~2本/㎡)
シート同士の重ね部分にGF防草テープを貼り、4号砕石を50mm程度敷きつめ、施工完了となります。



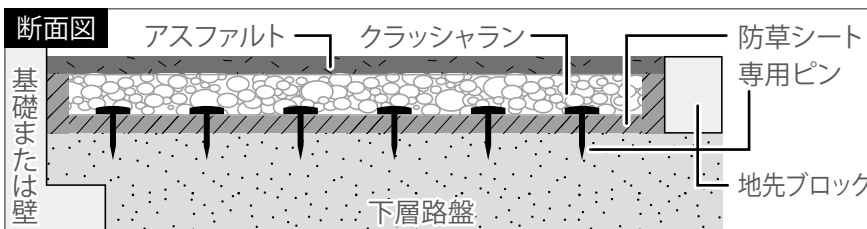
・施工方法 (リアリーターフ®下)



防草シートを曝露時と同じように敷き、スミ付け箇所に専用ピンを1mピッチで打ち、シートを固定します。(1~2本/㎡)
防草シート施工後、リアリーターフ®を敷き、仮固定後、専用ピンで、10本/㎡で本固定し、施工完了となります。



・施工方法 (アスファルト下)



防草シートを曝露時と同じように敷き、スミ付け箇所に専用ピンを1mピッチで打ち、シートを固定します(1~2本/㎡)。
防草シート施工後、クラッシュランを50~150mm程度敷き、その上にアスファルトを施工してください。

■ 施工時の注意点

- ・植物や障害物がある場合、位置を合わせ、ハサミやカッターで隙間がないよう加工し、切りすぎた場合はGF防草テープで補修してください。
- ・構造物がある場合、シートを30~50mm程度立上げ施工してください。
- ・現場状況により雑草がひどい場合には、端部、ジョイント部にGF防草テープ・専用ボンドで接着し、施工してください。【P.5参照】
- ・砕石を敷き均す際、ジョイント部に砕石が入らないようご注意ください。また、敷き均しに使用する重機はキャタピラに突起物の付いたものは使用できません。
- ・防草シートに被覆する砕石は単粒度4号砕石をお奨めています。(クラッシュランの場合、パウダー状の粒子が含まれているため保水性があり、飛来した雑草の種子が発芽しやすくなります)
- ・駐車場として使用される場合は、砕石を50mm以上敷き施工してください。(砂利が薄い場合、下のシートが露出する恐れがあります)

各種試験データ

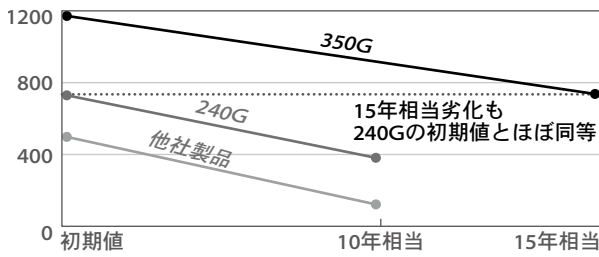
■ 紫外線劣化加速試験データ

【測定条件】

試験製品 : ザバーン®製防草シート350G (2013年9月製造)
 促進耐候試験機 : アイスーパーUVテスター
 曝露時間 : 450時間 (15年相当)
 ブラックパネル温度 : 63℃
 湿度 : 50RH シャワーなし
 引張強度/伸び : JIS-L1096

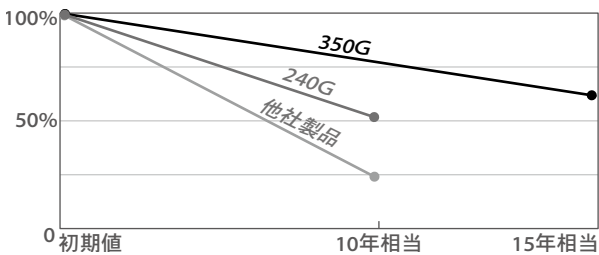
【引張り強さ(N/50mm)】

| | 350G | 240G | 他社商品 |
|-------|-------|------|------|
| | 縦 | 縦 | 縦 |
| 初期値 | 1,190 | 735 | 504 |
| 10年相当 | | 376 | 116 |
| 15年相当 | 733 | | |



【引張り強さ残存率】

| | 350G | 240G | 他社商品 |
|-------|------|------|------|
| | 縦 | 縦 | 縦 |
| 初期値 | 100% | 100% | 100% |
| 10年相当 | | 51% | 23% |
| 15年相当 | 62% | | |



解説

- ・350Gの引張り強度は15年相当劣化後でも、240Gの初期値とほぼ同等です。
- ・化成品は一般に「引張り強度が50%を下回ると劣化している」とみなされます。
- ・350Gの劣化曲線(≒引張り強度残存率)は、他製品に比べ穏やかです。劣化は表面から始まり徐々に裏面に達するので、350Gの厚さが貢献した結果と推測されます。

※紫外線照射が過酷な現場(日の遮らない/南向き法面など)においては想定表記した耐用年数に満たない場合があるため、上位グレードであるザバーン®製350G等高耐候品のご使用を推奨します。

■ ザバーン®製防草シートの耐薬品性

| 薬品 | 耐久試験時間@及び温度 | 引張り強度の保持率 |
|------------------|---------------------|-----------|
| 60% 硫酸 | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 70% 硝酸 | 10時間 @70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% 塩酸 | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 10% 水酸化ナトリウム | 10時間 @210° F (99°C) | ≧90% |
| 飽和塩化カルシウム | 10時間 @200° F (93°C) | ≧90% |
| 100% キシレン | 10時間 @200° F (93°C) | ≧90% |
| 100% テレピン油 | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% アセトン | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% 酢酸 | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ベンゼン | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% 塩化メチレン | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ジメチルホルムアミド | 10時間 @200° F (93°C) | ≧90% |
| 100% エチレングリコール | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ホルムアルデヒド水溶液 | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ナフタリン(パウダー) | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ニトロベンゼン | 1000時間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% パークロロエチレン | 10時間 @200° F (93°C) | 20-59% |
| 100% ガソリン(無鉛) | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ケロシン | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% クレオソート | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% モーターオイル | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% ブレーキ液 | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% トランスミッション液 | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% #2ディーゼルオイル | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% 不凍液 | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |
| 100% 原油 | 8日間@70° F (21°C) | ≧90% |

※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

■ タバコ法試験

| 試験項目 | | 試験結果 | | 試験方法 |
|---------|-------------|------|-----------|------------------------------------|
| 45度タバコ法 | 炭化長 | 1 | 周辺端部に達しない | 防災製品の性能試験基準(防災製品認定委員会)準用《寝具類(毛布類)》 |
| | | 2 | 周辺端部に達しない | |
| | | 3 | 周辺端部に達しない | |
| | 1時間後の残炎・残じん | 1 | なし | |
| | | 2 | なし | |
| | | 3 | なし | |

※試験の結果シートは全焼はなく、タバコの火による引火等はありません。

■ 各種ピンの引抜き強度試験データ

| 項目 | | 施工条件 | | |
|--------|-------|-----------------------|-------------------|-------------|
| 製品名 | 寸法 | 踏み固めを行っていない軟らかい土壌(盛土) | 3tバックホウで1回踏み固めた土壌 | 車両通行のある砂利歩道 |
| L型止めピン | 500mm | 58.3N | 308N | 500N以上 |
| | 300mm | 41N | 265N | 500N以上 |
| コ型止めピン | 300mm | 51.6N | 180N | 打設不可 |
| | 200mm | 32.6N | 133N | |
| | 150mm | 23.3N | 123N | |
| ガンコピン® | 250mm | 180N | 500N以上 | 500N以上 |
| | 150mm | 60N | 345N | |

- ※引抜き強度につきましては100N以上の強度を目安に選定を行ってください。
- ※端部処理、ジョイント接着は必ず行ってください。(ボンド・GF防草テープ・フラットバーの施工は【P.5~6】をご参照ください)
- ※引抜き試験は3回の試験を行い、平均値を割り出し算出しております。(自社試験数値)

■ ザバーン®製防草シート透水係数

シートの透水性を計測する試験方法はないため、土壌の透水試験方法を使用しております。

土の透水試験法(JIS A-1218より抜粋)

【ザバーン®製防草シート240Gの透水係数】

$$5.01 \times 10^{-2}$$

JIS A 1218準用
透水面積: 1cm²
透水時間: 60Sec
水位 : 10cm

$$\text{cm} / \text{秒} = 0.0501 \text{cm} / \text{秒}$$

つまり、ザバーン®の上に水深10cmの水溜りがあったとすると、1秒後には水深9.9499cm(=10cm-0.0501cm)になります。

$$= 3.006 \text{cm} / \text{分}$$

1分後には6.994cmになっています。10cm(100mm)の水溜りも3分20秒後にはなくなります。

$$= 180.36 \text{cm} / \text{時}$$

60分間では180.36cm(=1803.6mm)が排水されます。


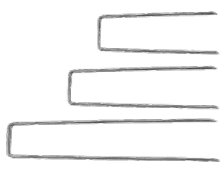
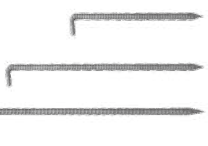

【土の透水試験法(JIS A-1218より抜粋) 透水係数k(cm/s)】

| | 10 ⁻⁹ | 10 ⁻⁸ | 10 ⁻⁷ | 10 ⁻⁶ | 10 ⁻⁵ | 10 ⁻⁴ | 10 ⁻³ | 10 ⁻² | 10 ⁻¹ | 10 ⁰ | 10 ⁺¹ | 10 ⁺² |
|-----------------|------------------|------------------|----------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 透水性 | 実質上不透水 | | 非常に低い | 低い | ↑ 中位 | | | 高い | | | | |
| 対応する土の種類 | 粘性土 | | 微細砂、シルト砂 シルト粘土混合土 | | | 砂、及び礫 | | 清浄な礫 | | | | |
| 透水係数を直接測定する方法 | 特殊な変水位透水試験 | | 変水位透水試験 | | 定水位透水試験 | | | 特殊な定水位透水試験 | | | | |
| 透水係数を間接的に測定する方法 | 圧密試験結果から計算 | | | なし | | | 清浄な砂と礫は 粒度と間げき(隙)比から計算 | | | | | |

ザバーン®製防草シートの透水性レベル

関連部材の早見表

■ 固定ピン

| 製品 | 用途 | 仕様 |
|-----------------|-------------------|--|
| プラピン 115mm | 砂利下用 | <ul style="list-style-type: none"> ・600本/50本入り ・材質:再生ポリプロピレン ・品番:EDG-PP  |
| コ型止めピン 150mm | 曝露施工用 | <ul style="list-style-type: none"> ・600本/50本入り ・規格:Φ4mm×W40mm×(H) ・材質:鉄(亜鉛メッキ加工) ・品番:P-150/P-200/P-300  |
| コ型止めピン 200mm | | |
| コ型止めピン 300mm | | |
| L型止めピン 200mm | 曝露、 通常地盤用 | <ul style="list-style-type: none"> ・50本入り ・規格:D10mm×W30mm×(H) ・材質:鉄 ・品番:P-L200/P-L300/P-L500  |
| L型止めピン 300mm | | |
| L型止めピン 500mm | 曝露、通常～ 軟らかい地盤用 | |
| ガンコピン® 150mm | 曝露、 通常地盤用 | <ul style="list-style-type: none"> ・600本/50本入り ・材質:リサイクルポリプロピレン ・付属品:防草パッチ® (グリーン、ブラウン、ブラック) ・品番:P-GA150-XTP P-GA250-XTP  |
| ガンコピン® 250mm | 曝露、 軟らかい地盤用 | |

■ 副資材

| 製品 | 用途 | 仕様 |
|------------------|--------------------|--|
| 防草パッチ® | ピン固定部の保護 | <ul style="list-style-type: none"> ・600枚/50枚入り ・規格:120mm角 ・カラー:グリーン、ブラウン、ブラック ・品番:XT-P12G、XT-P12BR、XT-P12BL |
| GFワッシャー® | ピン固定部の保護 | <ul style="list-style-type: none"> ・600枚/50枚入り ・規格:直径80mm×H12.5mm ・材質:ポリエチレン ・カラー:グリーン、ブラウン、ブラック ・品番:WS-GR、WS-BR、WS-BL |
| GFボンド® | ジョイント、 端部処理 | <ul style="list-style-type: none"> ・規格:1.2kg入 ・品番:BOND1.2 |
| GFカートリッジガン | | <ul style="list-style-type: none"> ・規格:1.2kg用 ・品番:GF-GUN |
| GF防草テープ | 支柱、ジョイント、 端部処理 | <ul style="list-style-type: none"> ・規格:W100mm×L20m ・カラー:グリーン、ブラウン、ブラック ・品番:XT-GR1020N、PT-BR1020N、PT-BL1020N |
| GF強力 両面テープ | ジョイント、 端部処理 | <ul style="list-style-type: none"> ・規格:W50mm×L15m ・品番:XT-GF0515 |
| フラットバー | 端部強力固定 | <ul style="list-style-type: none"> ・10本入り ・規格:L1030mm ・材質:鉄 (緑色サビ止めコーティング仕様) ・品番:P-FB-10 |
| ハードエッジ アンカー | コンクリート部 固定用ビス | <ul style="list-style-type: none"> ・21本入り(ワッシャー付) ・規格:10×60mm ・材質:鉄(ジオメット処理) ・品番:P-HEA60-21 |
| コンクリート用 ビスセット | コンクリート部 固定用ビス | <ul style="list-style-type: none"> ・200本入り ・規格:ビス 4.4×32mm ワッシャー 直径27mm ・材質:ビス SWCH18A ワッシャー ABS ・品番:CT-BW200 |
| 植栽ワッシャー® テープ | 植栽用根元保護材 | <ul style="list-style-type: none"> ・50セット100枚入り ・規格:縦120mm×横180mm ・材質:[バックイング]ポリエチレン [粘着層]アクリル系 ・仕様:1株へ2枚使用 ・カラー:グリーン ・品番:SWS-TPGR50 |
| 植栽オープナー® | 植栽ワッシャー® 専用穴あけ機 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕様:直径70mm穴あけ (鉢(ポット)サイズ:3号以下) ・材質:鉄 ・品番:RY-OPENER |

デュポン™、ザバーン®、プランテックス®は米国デュポン社の関連会社の商標または登録商標です。

ジスタス®、ザラグリッパ®、防草パッチ®、植栽ワッシャー®、植栽オープナー®、リアリーターフ®、ガンコピン®、GFワッシャー®、GFボンド®は株式会社グリーンフィールドの登録商標です。

 **株式会社 グリーンフィールド**

☎ 0120-222-178

☎ 0120-522-178

🌐 <https://www.gfield.co.jp/>

北日本営業部 〒028-3609 岩手県紫波郡矢巾町医大通2-7-7-2F
TEL 019-671-3310 FAX 019-601-9100

首都圏EX営業部 〒277-0841 千葉県柏市あけぼの1-3-19-4F
TEL 04-7199-3770 FAX 04-7199-3772

東日本CS営業部 〒277-0841 千葉県柏市あけぼの1-3-19-3F
TEL 04-7192-6606 FAX 04-7192-6607

中部営業部 〒491-0001 愛知県一宮市瀬部巡見18
TEL 0586-52-6602 FAX 0586-52-6603

関西営業部 〒673-0016 兵庫県明石市松の内1-13-24-4F
TEL 078-939-4130 FAX 078-939-4131

九州営業部 〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂6-25-29
TEL 092-292-0035 FAX 092-292-0038

特販部 〒277-0841 千葉県柏市あけぼの1-3-19-4F
TEL 04-7196-6050 FAX 04-7196-6051